

蔵増北青壮年会だより

発行 第39号

平成15年7月20日

そらねん



発行人会長 奥山正男

編集委員長 秋保 栄

編集 機関紙編集委員会



date 平成15年5月11日 北堀公園にて

こころ和ます
色とりどりの花
老人クラブ花いっぱい運動

花
手際よく
北区の庭に
お引越し
色とりどりの衣装
新緑のころから
秋色できまで
おじいちゃん、
おばあちゃんの
やさしい気持ち
こころ和ませ
夢咲かせてくれる



袋の中には捨てられたモラルがいっぱい。最近、高速道路の下にごみが目立ちます。何か名案ないでしょうか。(H15.5.25 ごみゼロ運動)

部活動ますます盛んに

平成十四年度総会

平成十四年度総会が二月二十三(日)北公民館で開催され、経過報告と十五年度計画が審議されました。主な点は次のとおりです。

備品購入について

これまで盆踊り大会で使用する音響機材は鈴木清雄

さんの厚意により第三者から借り入れていただいておりますが、今回、鈴木さんが退会されましたので、新年度予算で機材購入についての提案がありました。この案件については、機材のグレード、価格、三周年記念事業積立金への影響或いは備品を持つことの必要性の有無など、色々意見が出され、今後継続して検討することになりました。

新部発足に支援を

そのほか、出席者から、「野や山を歩き、軽い運動をしたい。そういう部活動を、という話題が多数の人から出ている。是非執行部の支援をお願いしたい。」という要望が出され、奥山会長からは「多くの人の参加を集め、結成してほしい。」との答弁がありました。

予想上回る

反響

「野山を歩こう会」

後日、新年度の部活入部申し込みを行ったところ、野山を歩こう会に十七名の申し込みがあり、これまでもこの部にも所属していない方も多数いて大きな反響がありました。これを受け、後日開かれた理事会で部活動の承認がされました。

新役員紹介

会長 奥山 正男(北二)
 副会長 今田 光一(北二)
 " 秋保 栄(北二)
 " 熊澤 常也(北二)
 理事 土屋 政美(北二)
 " 森谷 忠男(北二)
 " 後藤 賢次(北二)
 " 森山 美典(北二)

監事 菊地 義盛(北二)
 " 東海林 由人(北二)
 " 土屋 忠治(北二)
 " 山崎 秀樹(北二)
 " 山崎 昭夫(北二)
 " 佐藤 俊彦(北二)
 " 五十嵐 利夫(北二)
 " 土屋 公男(北二)
 " ソフト部長 森山 美典(北二)
 " 将棋部長 山崎 稔(北二)
 " 麻雀部長 土屋 博明(北二)
 " 書道部長 今田 仁志(北二)
 " 野山を歩こう会 森山 美典(北二)
 " 編集委員長 今田 仁志(北二)
 " 今田 仁志(北二)
 " 東海林 隆(北二)



小鳥のさえずり、蝉の声もこだまして、さわやか山歩き野山を歩こう会、初めてのトレッキング(H15.6.8 面白山)



五十歳 過ぎたって

新副会長 秋保 栄

気づいて見れば私も五十歳目前。

確か昭和六十一年の臨時総会で「会員は五十歳位まで」という定年制が提案され、私達世代はそれに異論を唱え、実現には至らなかった。決まっていたなら、今の私にとって楽しみとなつている野山を歩くことも、写真や書をたしなむことも、もうタイムリミット。五十歳から老人クラブまでという時間を過ごせば良いのか。青壮年世代は人生の中で一番充実した時期です。今が旬です。三十歳過ぎた人は是非お入りいただいて、五十歳過ぎた人もまだまだ。地域での交流を深め、もつと、もつと、楽しんでいきましょ。

フレッシュマン

新会員にインタビューしました



地域の仲間と

北三区 渡辺芳弘さん

今年入会した北三区の渡辺芳弘さんを紹介します。昭和四十五年六月生まれの三十三歳。家族は、両親と奥さん、そして二人の女の子のお子さんの六人家族。アウトドアは少々苦手で、

今は室内でゲームを楽しんでいるそうです。

仕事は、四年前まで八百屋さんに働いていましたが、現在は独立して、青果の仲卸しの仕事を奥さんと二人でやっているそうです。朝5時頃市場に仕入れに出かけ、小分けにしてお得意さまに配達するそうです。

仕事柄、平日に休みを取れないので長女の小学校行事に係わり合いをもてないのが残念に思っているそうです。

入会の動機は、地域の仲間とふれあい、親睦を深めたいからとのことでした。

(聞き手 土屋博明)



スノーボードの達人

北三区 渡辺 勉さん

昭和四十五年生まれの渡

辺さんは、通信機器メーカーに勤務するエンジニア。

趣味はスノーボードで、始めてから十二年位になる。ハーフパイプ競技大会に二回程出場した経験を持つ腕前で、インストラクターの資格はまだですが、老若男女を問わずある程度の基本は教えられるとのこと。

家族は、祖父母、両親と妻、男の子二人の八人家族です。クラブは、ソフトボール部に入部。消防団副部長を経て青壮年会に入会。

そのきっかけは、「地元に残る以上は、当然入らなければならぬ」と語り、何とも頼もしい限りである。

(聞き手 東海林隆)

「これから色々な活動に参加して、交流を深めたい。」

とも抱負を語ってくれた。

ただいま、ゴルフに夢中

北三区 山崎 誠さん

山崎さんは、昭和四十六年生まれで、只今、

良き伴侶を募集中の青年です。好みは？ と問い尋ねると「かわいい人」と言う返事が返ってきました。中々の好青年です。



家族は、祖母、両親、妹の五人でほかに、ペット(猫)が一匹。最近始めたゴルフが楽しくて、暇をみつけては打ちっぱなしに通い、練習を続けているそうです。

青壮年会の印象としては、「世代の差があまり感じられなく話しやすそう」とのこと。クラブはソフトボール部に入部したそうです。

(聞き手 東海林隆)

「今回、青壮年会に入会したみんなが同級生なので、みんなが楽しくまじめに盛り上げられたらいいなあ」と抱負を語ってくれました。

仕事は機械設計の方だけに、きめ細かい配慮がある青年との印象でした。

(聞き手 東海林隆)



これは会史に残る快挙です。日ごろの鍛錬のたまものです。

3度目の頂点 市連合将棋大会優勝 アベック優勝にあと一步

五年振り三度目の優勝。
あわや、二チームアベック
優勝寸前。

二月二十三日(日)、パル
テ市民プラザで開催された
天童市連合青壮年会将棋大
会の結果です。

本会から二チームが参加
し、Aチームは予選リーグ
を突破、優勝トーナメント
戦へ進出。Bチームは惜し
くも予選リーグで敗退し敢
闘トーナメント戦へ進出。
優勝トーナメント戦へ勝
ち進んだAチームのメン

バーは、鈴木
清雄、佐藤政
幸、森山美典
の強力な布陣
で、一回戦は
3勝0敗、準
決勝は2勝1
敗、決勝戦も
3勝0敗と危
げなく、五年
振り三度目の
優勝を勝ち取
りました。

一方、敢闘
トーナメント
戦へ進んだ
Bチームのメン
バーは熊澤常
也、後藤賢次、
佐藤正男の強
者たちで、一
回戦を2勝1
敗、準決勝も
2勝1敗で決
勝に進み、決
勝戦もあと
もう一人で優
勝という場面
、最後の一步
まで攻め込
みましたが惜
しくも届き
ませんでした。

Aチームメンバー		
(決勝トーナメント優勝)		
鈴木清雄	佐藤政幸	森山美典
Bチームメンバー		
(敢闘トーナメント準優勝)		
熊澤常也	後藤賢次	佐藤正男

この大会は過去二十八回
の歴史ある大会ですが、こ
れまで優勝トーナメント戦
と敢闘トーナメント戦でア
ベック優勝したチームはあ
りません。蔵増北青壮年会
が初の快挙を成し遂げるの
かと大勢の人たちが見守る
中、それぞれの決勝戦が行
われましたが、惜しくもア
ベック優勝を逃がしまし
た。(森山記)

新部長紹介 よろしくお願ひします



書道部長
土屋 博明(三区)

今年度から書道部長にな
りました北三区の土屋です。
青壮年
会書道
部には
入部し
て今年
で十年
目にな
ります
が、入
部した
当初の
気持ち
を持ち
続ける
ことは
大変な
ことと
ありま
す。仕
事が忙
しいと
きや、
疲れて
帰って
きたと
きなど
は、書
道をや
めよう
かと幾
度か考
えた時
があり
ましたが
、自分
なりに
信念を
持つて
筆



今年新たに発足し
た「野山を歩こう会」
の紹介をします。
会員数が十七名と、ソフト

野山を歩こう会
会長
今田 仁志(二区)

を持つことが長続きするの
だと思ひます。
書道部の活動状況を紹介
します。現在部員数は十五
名で活動しています。年間
の主な事業は、秋の地区文
化祭と市書展に出展するこ
と。また、観桜会や各種懇
親会を行い、親睦を深めて
います。「御祝い」「御礼」
など、実用書から仮名や条
幅まで幅広く練習ができる
ので、志のある方は
是非入部してください。
大歓迎いたします。

ボール部（二十名）の次に多い会です。出来立てホヤホヤで、五月九日（金）に設立総会を開きました。活動内容は、登山だけでなく、山菜採り、サイクリング、温泉めぐり、酒のみなど、良い汗かいて楽しもうという何でも有りの会になる予定です。

記念すべき第一回目の行事は、六月八日（日）に北面白山（二二六四m）登山を行いました。急な日程で参加者が少ないのでは、予定を延期しなければいけないのかなと思っていたところ、最終的に八名の参加者を得て、予定通り開催できました。詳しくは本紙八頁に副会長の佐藤春彦さんの紀行記事をご覧ください。

現代の生活は、便利さと裏腹に多くのストレスを抱えて生きていかなければなりません。野山を歩き、自然の持つやさしさや厳しさに触れながら、心と体をリフレッシュしましょう。

麻雀部長
山崎 稔（二区）

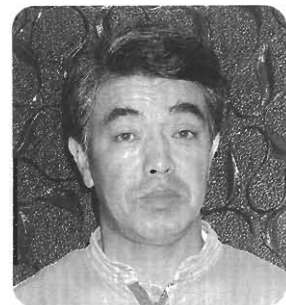
麻雀部員は、個性豊かな勝負師揃いで、そんな中で前部長の斎藤勉さんから部長を指名され、戸惑っている山崎稔です。私ができることは、月例会を楽しく過ごすための（おいしい水を）準備することだけです。

新春麻雀大会と月例会のほかに、十一月には一泊研修を予定しており、楽しい企画取りをいたしますので、今からでも、麻雀部に入学してください。

尚、腕前に不安を抱かれていますの方は、月例会に飛び入り参加され、卓を囲めば不安が解消されることでしょう。この文面を読まれた方は、老若男女問わず、ご連絡ください。寝苦しい夜卓を囲み一喜一憂を共にしましょう。



北一区
森山 信之 さん



紹介
この人

今回は
元理事の
森山信之
さん宅を
訪問しま
した。

信之さんは、東根市観音寺生まれで昭和五十五年に北一区の森山順子さんと結婚し、今年で二十三年目になるそうです。

仕事は高校を卒業してからコマツ産業機械のメンテナンス一筋で、青壮年会の皆さんも仕事場で会った方も多いのでは。

青壮年会では十年間の長きにわたり理事として活躍していただきました。部活動は、加入当時からソフ

トボール部、順子さんと一緒に入部した書道部と多彩ですが、一番印象に残っていることは、謡曲部を新しく立ち上げたときのことだそうです。

信之さんは、「昭和六十二年頃から謡曲を習いたいという人が多く、部を発足の声が上がったが、中々軌道に乗らなかった。その後、北区の昔の先輩たちが踊ったという伝説のカラ傘踊りも謡曲も習いたいという声が高まり、私が初代部長に就き、ようやく平成元年に発足した。実に四十年振りに伝統の傘が回った。私たちの親の代にあたる大先輩たちを師匠とし、教えを請い、毎晩のように傘おどりの練習を積んだ。平成四年に開催されたべに花園体操火式（蔵増小G）で、衣装も昔のものを復元し、踊りを披露したことが一番嬉し

かった。」と話した。ただ、「こ数年活動が停滞していることが一番残念。」ということも付け加えました。また、「二昨年に大きな病気で皆さんに大変な心配をかけたが、今は元気になる、健康の有りがたさを楽しみ感じている。」と話しておりました。家族は父、母、妻の順子さん、長男亮輔さんの五人暮らし。今春から長女裕美さんが東京に就職し、ちょっと寂しそうなノブさんでした。（聞き手 後藤賢次）

第28回 詰め将棋
将棋クラブがあなたに挑戦

持駒 角金桂

6	5	4	3	2	1	
				と	王	一
			歩	歩		二
				銀		三
						四
					桂	五
						六
						七

ヒント 2のと金はいつかはとれます。五分で四級。（七手詰め）



(秀) さあ、これでどうだッ。
(賢) ご隠居さま、そんな ご無体なあ...

4年振り2度目 新春将棋大会 山崎秀太郎さん優勝

一般参加

蔵増北区恒例の新春将棋大会が二月十一日に北公民館で開催され、熱い戦いが繰り広げられました。

予選リーグでは一般参加で常連の森山一男さんと山崎秀太郎さんが勝ち進み、決勝トーナメントに駒を進めました。敢闘トーナメントでは渡辺秀治さん達の戦いとなり、後藤賢次さんが優勝しました。

決勝トーナメントの優勝決定戦では山崎秀太郎さんと、佐藤政幸さんの対戦、昨年の決勝戦の再現となりました。昨年は佐藤さんが優勝しており、山

崎さんはそのリベンジに燃えていました。熱戦を制したのは山崎秀太郎さんで、四年振り二度目の優勝を飾りました。本当におめでとうございませう。来年も多数の参加者を募りまして奮って参加をお願いします。

(森山記)



おむム、これはいい手だろ。☆上がってから言えヨな。

森谷茂泰さん初優勝 第三回北区新春麻雀大会

一敗で追いかける後藤賢次さん、渡辺勲さん、二敗の鈴木慶一郎さんにより、熱い決戦が繰り広げられ、森谷さんが初優勝を飾りました。大会後、優勝者に賞状、記念品と名誉ある二十個のティッシュが贈られ、その後の懇親会も楽しく盛り上がりました。

▽優勝 森谷茂泰 8勝
▽準優勝 後藤賢次 7勝

1敗▽三位 渡辺勲 7勝1敗

年間トーナメント戦 を振り返って

トピックスは昨年九月の例会で次々と上がり続けた鈴木清雄さんの大勝でした。役満二回以上を上回るプラス70点以上を勝ち取り、同席の相手がお手上げ状態になったことがありました。

写真部展覧会 写真を養う

写真部展覧会

一年間の長丁場での戦い、大変、苦勞様でした。
▽年間優勝 阿部正和
▽準優勝 斎藤 勉
▽三位 熊澤常也
(山崎記)

三月二十三日、県写真展を見学。入選する写真にはその年その年の特徴があるようです。今年は普段どこにでもあるような光景、でも、中々とらえられないようなスナップ写真が多かったと思います。一枚一枚に感心しながら私たちも出展できるように励んでいきたいと思えます。

(大木記)



これはすげえ、いつかはオレだって



新年の行事としてすっきり定着。来年は全員集合。

「凄腕山崎稔料理長が腕を振るったおでんや煮込み、持ち寄られた美酒等で和やかで歓声飛び交う楽しい正月となりました。来年もより多くの皆さん、気軽に参加してください。(秋保 記)

今年も
にぎやかに
新年を祝う会

新たな年を迎え一月五日(日)、「新年を祝う会」が北公民館で開催されました。二〇〇一年元旦に「21世紀を祝う会」を初めて開催、好評につき今年で三年目になります。



気楽に楽しめるグランドゴルフ。またやろうぜ。

惜しくも準優勝
グランドゴルフ大会

蔵増地区青壮年会グランドゴルフ大会が、五月二十五日に開催されました。

北青壮年会からは、団体戦に六名、個人戦に五名が参加し優勝を狙いましたが団体戦は一七四打で準優勝、個人戦では森山が首位に一打差の二五打で惜しくも第三位となりました。団体戦、個人戦ともに優勝した窪野目チームは団体戦一六一打、個人戦二十四打で四連覇でした。来年また、頑張ります。(森山 記)

近所のニュース

おめでとうございまあ
お宝 赤ちゃん誕生
岩月成人さん・千文さん
三女 叶 ちゃん (H15. 3.29 生)



愛情いっぱい家族に囲まれて

あいがとうございまあ

山崎秀行さん(2 区)から公民館前の除雪をしていただきました。お陰様で快適に使うことができました。



めんごい翔輝くんもボランティア

わたしの作品

《揮毫 佐藤俊彦》

私が書道部に入部した時の動機は「毛筆で自分の名前を書きたい。」という単純な気持ちからでした。

楷書、行書、草書と書いてきましたが、いまもって満足のいく作品が書けません。筆をもつ度自分の腕の未熟さにあきれてしまいました。岩月啓次郎先生の指導を受け、朱墨で添削していただいた書を手にして、どこが違うのかと見比べて書きますが、中々自分のものになりません。先生に書を見せてもらってやっとな

「良し」の言葉をいただいた時の嬉しさは何とも言えません。入部するまで筆を持ったことの無い私がここまで続けられたのも岩月先生をはじめ書道部の皆さんのおかげです。字は一生身に付くものです。未長く書と付き合っていくか自分が納得する書が出来よう努力していきたいと思えます。

江人授衣晩十月始開砧一夕
高樓月萬里故國心

「江人授衣晩十月始開砧一夕高樓月萬里故國心」

五言四句

佐藤俊彦(俊彦)書



天童で一番高い「三沢山」にて。こんな爽快感は初めて！

満喫 爽快な風と 森林浴



野山を歩こう会 初登山

六月八日(日)、『野山を歩こう会』初めての活動として、面白山登山を行いました。

当日は天童高原山開きと重なり、参加者は当会八名、市民六名、先達の天童山岳会二名、総勢十六名(女性二名)でした。

天童高原から天童市で最も高い三沢山(標高一〇四一m)を経て、北面白山(一二六四m)山頂に立ち、天童高原に戻る、標高差約五九〇m、距離三、五km、四時間二十分のコースでした。

晴天のもと、六月の爽快な風に励まされ、森林浴と尾根からの眺望を満喫した山行でした。帰りに天童高原ロッジで納豆餅と山菜汁を頂き、今日の山行に感謝し、秋の第二弾に思いをめぐらせ下山したのは私だけでしょうか。

(佐藤春彦 記)

北区の人事

北区の自治活動の先頭に立ってがんばっている北公民館運営委員会の方々に御紹介いたします。

- 連合会長 佐藤 良蔵
- 北一区長 森山 栄
- 北二区長 山崎 優
- 北三区長 蔵増 幸義
- 連合会会計 秋保 松弘
- 青壮年会長 奥山 正男
- 消防団部長 本間 和彦
- 老人クラブ会長 山崎秀太郎
- 婦人会長(一) 森谷 孝子
- 〃(二) 奥山 靖子
- 〃(三) 鎌倉とよ子
- 若妻会長 阿部千恵子
- 子ども育成会長 山崎昭夫
- 交通安全協会 五十嵐俊一
- KSC (一) 岩月 成人
- 〃(二) 佐藤 利光
- 〃(三) 阿部 正和

(※KSCは旧の体育指導員)

- 北公民館長 鈴木 清雄
- 北公民館主事 後藤 賢次

(以上敬称略)

これからの行事

◎8月10日(日) 北堀公園
草刈・北区盆踊り大会

◎8月31日(日) 蔵小G
蔵増地区レクリエーション大会

◎10月26日(日)
秋のゴミゼロ運動

◎11月1日(土)～2日
(日) 蔵増地区文化祭

だごくろっはま だした

平成十四年度をもって次の方々が退会されました。

皆様からは、青壮年会活動の基礎づくり、そして活性化に御尽力いただきました。献身的な奉仕と、地域を愛する活動に深く感謝を申し上げます。

- 山川 富雄 様(北一)
- 鈴木 清雄 様(北二)
- 和田 孝一 様(北二)
- 鈴木 幸雄 様(北二)

- ☆第28回詰め将棋の回答
- ▲2四桂跳 △同 香
- ▲2三角 △2一玉
- ▲3三桂 △同 歩
- ▲3二金 まで七手詰め



あとかぎ

▽足は第二の心臓
だそうです。

そういえば、足の指や足の裏をみるとなんだかくたびれた感じがします。これが『野山を歩こう会』に入る理由の一つでした。また年齢ととも

に土や緑に対する思い入れも強くなりました。自然を甘く見ず、自分を過信せず、そして肩の力を抜いてこれから楽しませてもらいます。

(野山を歩こう会委員 佐藤春彦)
▽小学生の頃の思い出。ガッちゃん(土屋博明さん)宅の北側原野(倉津川ほとり)で流れ着いた稲杭や藁で隠れ家を作ったものだ。家に子ども部屋なんてなかったから、自分の城を築いた気分浸っていたのだらう。友と酒を酌み交わす時、こんな思い出話が何よりの肴になる。今の子ども達が大人になった時、どんな思い出話を肴に酒を飲むのだろうか。(二区委員 土屋忠幸)

編集委員

委員長：秋保栄・常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆
・区選出委員：1区 後藤賢次、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明
部選出委員：ソフト部 土屋公男、将棋部 森山美典、麻雀部 山崎稔、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

表紙題字 書道部長 土屋忠幸(博明)書

表紙写真 写真部 秋保栄